



長谷川香川大教授ら講演
四国地区推進協らが
測量の日記念講演会
「測量の日」（6月3日）
を記念した講演会が4日に
高松市のサン・イレブン高
松で開かれた。写真。「測

量の日」四国地区推進協議
会（会長・豊口佳之四国地
方整備局長）と日本測量協
会四国支部の共催。長谷川
修一香川大学特任教授・名
誉教授と濱田向啓四国整備
局企画部建設情報・施工高
度化技術調整官を講師に迎
えた。建設コンサルタント
会社を中心に約50人が聴講
した。

記念講演会は11回目。冒
頭、同推進協議会副会長を
務める大坂和博国土地理院
四国地方測量部長は、測量
の日制定の経緯や関連活動
を紹介し「本日の講演会を
含め、測量員の地位向上や
優秀な後継者を育てる重要
な取り組みだ」と述べた。

長谷川教授は「南海トラ
フ地震後の復旧・復興を今
から考えよう」をテーマに
講演した。2018年7月
豪雨で高知自動車道立川橋
（高知県大豊町）の上り線
のコンクリート桁が流出し
たものの、下り線を使った
対面交通により通行止めを
早期に解除した事例を挙げ
ながら道路の4車線化の重
要性を訴えた。「南海トラ
フ地震時に四国各地で建設
現場が稼働していれば、重
機と人を転用し、早期の道
路啓開と復旧が可能にな
る」と語った。

濱田氏は整備局が取り組
むインフラDXの代表的な
取り組みを紹介した。